



栃木県立真岡工業高等学校

全
日
制



所在地 〒321-4368 真岡市寺久保1丁目2番地9
 電話 0285-82-3303
 F A X 0285-83-6537
 U R L <http://www.totchigi-edu.ed.jp/mokakogyo/nc2/>
 創立 昭和38年
 課程 全日制課程
 設置学科 工業科
 生徒数 474名(男子446名、女子28名)令和3年5月1日現在

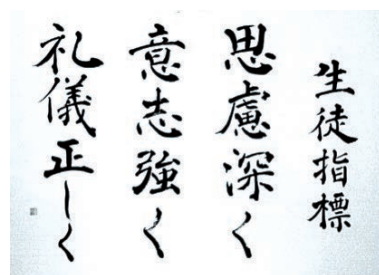
I 学校の概要

1 学校教育目標

- (1) 工業技術の多様化に対応しうる実践的技術者を育成する。
- (2) 勤労を尊び、責任を重んじ、積極的に明るい社会を建設する人間を育成する。
- (3) 健康で礼儀正しく、協調の精神に富む心豊かな人間を育成する。

2 目指す学校像

- (1) さまざまな学習活動をとおして、工業に関する知識・技術を身に付け、技術の進展に対応できる生徒を育成する。
- (2) キャリア教育をとおして、責任感や進路に対する自覚を身に付け、地域産業の発展を担うことのできる生徒を育成する。
- (3) 特別活動や部活動をとおして、礼儀や協調性を身に付け、健康で心豊かな生徒を育成する。



3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、本校の教育目標と目指す学校像を理解し、次の(1)から(3)の全てに該当する生徒

- (1) 工業に関する知識・技術を身に付け、将来、工業技術者として活躍したい生徒
- (2) 基本的生活習慣が身に付いており、社会の秩序やマナーを守ることができる生徒
- (3) 特別活動や部活動などに、意欲的に取り組む生徒

4 沿革

- 昭和38. 4. 1 県立真岡農業高校機械科として設置(2学級定員90名)
 昭和41. 4. 1 校名を栃木県立真岡工業高等学校とする
 昭和42. 4. 1 土木科設置(1学級定員40名)、機械科定員80名となる
 昭和44. 4. 1 建築科設置(1学級定員40名)
 昭和44.11. 1 県立真岡農業高等学校より、敷地、建物、工作物が全面的に管理替えとなる
 この日にちなんで、11月1日を本校の創立記念日と定める
 昭和63. 4. 1 電子科設置(1学級定員40名)
 平成18. 4. 1 機械科1学級減(4科4クラス)となる
 平成20. 4. 1 生産機械科設置(1学級定員40名)、建設科設置(1学級定員40名)に伴い、平成20年度入学生より、土木科、建築科を廃し、4科4クラスに再編する
 平成24.11. 1 創立50周年記念式典挙行

II 各科の特色

1 機械科

現在、身の回りで使用されている様々な製品は、そのほとんどが機械で作られています。そのため機械科では、自動車や電化製品などの工業製品の他、日用品や食品などを機械で製造するために必要な、幅広い知識や技術を学びます。

専門科目では、従来からある旋盤や溶接加工の他、原動機やマシニングセンタ、自動制御など、幅広い分野の実習を通して、基礎・基本から実践





的な技術・技能を身に付けることができます。また、従来からある「手仕上げ加工」にも重点を置き、生徒自身のものづくりセンス（感覚）を大切にし、さらに磨き上げることができる学習内容となっています。

資格試験では、ガス溶接技能講習や危険物取扱者のほか、各種技能検定などの高度な資格にもチャレンジし、成果をあげています。

これらの学習や体験をとおして、機械技術者として必要な資質向上を図り、ものづくりの楽しさや難しさ、充実感を得ることができる学科です。

2 生産機械科

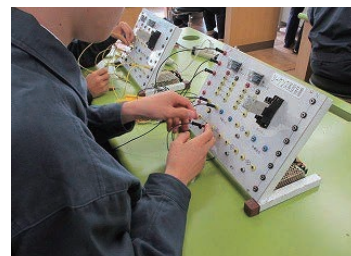
生産機械科では、ものづくりに関する実践力のある生産機械技術者の育成を目指した学習をします。そのため、ものづくりの技術を基礎から学び、現代のものづくりにとって欠かすことのできない機械工学・電子工学・コンピュータなどについて、基礎から総合的に学習していきます。

また、将来生産ラインのシステム構築やそれらを管理することも想定し、電子機械や各種制御に関する座学や実習を学ぶことで、現在生産の



現場で必要とされているロボットシステムインテグレーター（SIer）を目指す生徒も

います。実習では、制御系の内容を充実させ、特に3年次にはロボットの制御を体験的に学習します。さらに、課題研究において毎年各種ロボット競技大会へも出場し活躍しています。高大連携事業では、1年次からロボットに関する内容を実施し、企業見学では最先端の生産機械に関連した内容を取り入れています。このように生産機械科では、体験学習を多用しながら学習内容の理解を深めるために、座学と実習を融合させた授業を目指しています。



3 建設科

建設科では、私たちの生活に深く関わる道路や橋などの社会基盤の整備や住宅・店舗などの快適空間をつくる基礎的な知識や技術を学びます。

2年次からは、土木コースと建築コースに分かれ専門教科を学習します。身に付けた知識や技術を生かし、ものづくりコンテスト関東大会出場や全国製図コンクールなどでは金賞・銀賞を数多く受賞しています。



資格試験では、測量士補・2級施工管理技士補・建設業経理事務士などといった建設関係の資格取得に挑戦するとともに、建設重機の免許取得のための特別教育も受講しています。

また、企業の方から高度な技術を学ぶ授業や建設工事現場見学など多くの活動を通じて、建設業の魅力や楽しさを体験しています。3年次の課題研究や建設研究部の活動では、ものづくりをとおして工業高校生ならではの

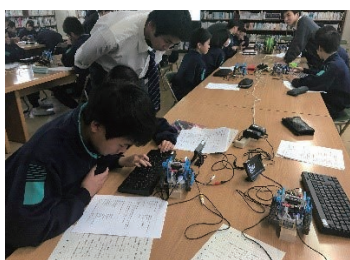
様々な地域貢献活動にも取り組んでいます。



4 電子科

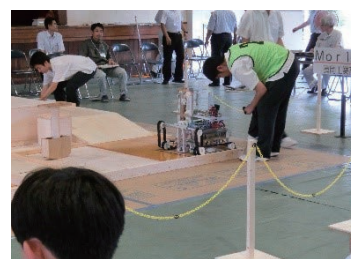
電子科では、情報通信テクノロジーが私たちの生活にとって必要不可欠のインフラとなった今日、エレクトロニクスの基礎的なものからコンピュータを中心としたネットワーク技術やソフトウェア技術の活用、ロボット制御技術など基礎から応用まで学習していきます。また、専門教科の課題研究や部活動の電子研究部では、高校生ものづくりコンテストや各種ロボット大会に出場し活躍しています。

昨年度よりプログラミング学習に力を入れ、制御実習をより充実させました。また、これらの知識をいかして、小学生には「プログラミング



体験教室」、中学生には「プログラミング出前授業」などの地域貢献活動にも取り組んでいます。

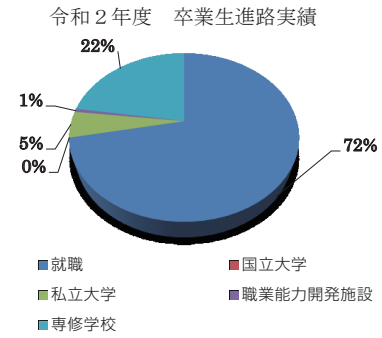
専門的な資格では、知識や技能を身に付けないとなかなか合格できないものもあり、学習の進度に合せて資格や検定試験など計画的に取得できるよう指導しています。取得できる主な資格は、「第二種電気工事士」、「第一種電気工事士」、「工事担任者第二級デジタル通信」、「危険物取扱者」などです。



Ⅲ 進路状況

昨年度の進路状況内訳は、就職が72%、進学が28%でした。就職については、芳賀地区唯一の工業高校であるため、地元企業を中心に近隣地区や県外から多くの求人をいただいています。近年は、全職種において増加しており、就職を希望する生徒については100%内定を実現しています。

また、進学希望者へも対応した柔軟な選択授業や実習を準備し、AO入試などの幅広い挑戦を可能にし、工業系を中心とした私立大学や公共職業能力開発校等といった様々な分野の上級学校に進学しています。



Ⅳ 特別活動等の紹介

1 学校行事

月	主 な 行 事
4	入学式、PTA入会式、離任式、始業式、対面式、新任式、新入生適応指導、生徒総会、PTA総会、生徒会専門委員会、個人面談、自転車バイク点検、身体計測、心臓検診、腎臓検診、結核検診、歯科検診
5	中間試験、夏季校内球技大会、第1回基礎テスト(*1)、SPI模擬試験、職業レディネステスト、職業適性検査、二輪車安全運転講習会、第1回学校生活アンケート、耳鼻科検診、眼科検診、歯科検診
6	キャリア形成支援事業(*2)、計算技術検定、情報技術検定、ガス溶接技能講習、就職ガイダンス、Q-U検査、面談旬間、第2回基礎テスト、内科検診、第1回学校評議員会、期末試験
7	期末試験、危険物取扱者試験、パソコン利用技術検定、進路ガイダンス、面接指導、生活安全講話、真岡鐵道沿線駅舎一斉清掃活動、表彰式、終業式
8	全校登校日、一日体験学習、外部講師面接指導(3学年)
9	始業式、自転車バイク点検、進路結団式(3学年)、第3回基礎テスト、建設業仕事説明会、進路ガイダンス、PTA模擬面接、就職試験開始、避難訓練
10	中間試験、修学旅行(2学年)、産業施設見学(1学年)、創立記念式典、学校公開、第2回学校生活アンケート、選択科目説明会
11	インターンシップ(2学年)(*3)、遠足(3学年)、計算技術検定、マラソン大会、建設科現場見学会、第4回基礎テスト、生徒会役員選挙、期末試験
12	期末試験、危険物取扱者試験、ガス溶接技能講習、進路体験発表会、交通安全講話、パソコン利用技術検定、進路ガイダンス、表彰式、終業式
1	始業式、生徒会役員任命式、自転車バイク点検、課題研究発表会、情報技術検定、学年末試験(3学年)、第2回学校評議員会
2	学年末試験(1、2学年)、工業基礎学力テスト、予餞会、進路ガイダンス、第3回学校生活アンケート、表彰式、卒業式予行、同窓会入会式
3	卒業式、春季校内球技大会、基礎力診断テスト、修業式、新入生オリエンテーション

- (*1) 基礎的な学力の定着を図るために、漢字と数学について年間4回実施します。
- (*2) 専門分野に精通し優れた知識や技能を持つ民間企業等の講師が、授業を実施します。
- (*3) 2年生全員が、近隣の企業において1週間の就業体験をします。

2 部活動

本校には、次の21の部活動があり盛んに活動しています。

陸上競技部、野球部、ソフトテニス部、バスケットボール部、バドミントン部、卓球部、サッカー部、柔道部、剣道部、バレーボール部、空手部、ライフル射撃部、機械研究部、生産機械研究部、建設研究部、電子研究部、音楽部、文芸部、写真部、囲碁・将棋部、ボランティア部
--

陸上競技部、ライフル射撃部等は、毎年のように関東大会での入賞や全国大会への出場を果たし、全国優勝の実績も残しています。野球部は、県東地区で唯一の甲子園出場を果たしています。

3 特色ある活動

【真心工房（地域ボランティア活動）】

各科で身に付けた工業の知識や技術を活かして、快適な暮らしのお手伝いをするための活動をしています。

【地域貢献活動】

特別支援学校との交流会や地域の諸行事（真岡鐵道駅舎一斉清掃活動・プログラミング教室・出前授業・SLフェスタ・真岡市産業祭）に参加し、飛沫防止のパーティションやマウスシールドを製作し、小中学校へ寄贈する地域貢献活動を展開しています。

【真工高カイゼン提案コンテスト】

平成30年度から、全校生徒対象に日頃の家庭生活や学校生活における小さな疑問や困ったことに、気づき・カイゼンしようとする意識を身に付けさせる「真工高カイゼン提案コンテスト」を開始しました。

優秀な提案に関しては、各科の研究部や課題研究の時間において、生徒自らが製作・施工し実現化を図っています。

【ICT教育】

昨年度よりICT教育に重点的に取り組み、リモート集会やICT機器を使用した授業を展開しています。

V 特色選抜について

1 定員の割合

○機械科：30％程度、生産機械科：30％程度、建設科：30％程度、電子科：30％程度

2 出願するための資格条件

「募集する生徒像」に合致し、中学校で身に付けるべき学力が身に付いており、次の（1）又は（2）のいずれかに該当する者

（1）志望する学科の特徴を理解し、ものづくりや資格取得に関して興味関心が強く、挑戦する意欲を持った生徒であること

（2）特別活動や部活動などに関し、優れた能力または実績を持ち、入学後も熱心に取り組むことができる生徒であること

3 選抜の方法

（1）面接：個人面接、時間10分程度

（2）作文：時間30分、字数300～500字

4 その他、特記事項

○令和3年度県高体連強化推進拠点校（競技：ライフル射撃部 男子）

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。

2 調査書は、

①「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）

②「特別活動の記録」、「行動の記録」は、段階評価を行う。

③「文化活動・スポーツ活動・社会活動・特技等の記録」は、資格要件に該当するものを評価する。

3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2の①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80％以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者数の80％以内にある者）で、【資料の取扱い】の2の②③と3の評価が良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。